

一 吟 徹 心 靈
一 曲 能 興 国

錦友…第324号

〈令和8年1月15日〉

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話:東京03-5484-3301(代)
〒106-0045



会長 城戸城濤

流祖50回忌の新年を迎えて

一般社団法人詩吟朗詠錦城会

丙午の新春を迎え、皆様と共に、この一年が飛躍の年となりますこと、そして平和で安全な年となりますことをお祈り申
し上げます。
さて、昨年一年を振り返りまして、3月には湯河原で師範吟詠大会並びに研修会を開催、6

謹んで年頭のご挨拶を

申し上げます

本会顧問の諸先生をはじめ、吟界各方面の皆様、新しい年を迎えお慶びを申し上げます。
昨年は、前代未聞の猛暑の夏、秋から冬にかけては、各地での熊騒動と、大変な一年でした。今年は、流祖の50回忌と現宗家の就任50周年の記念の年です。会員一同、頑張つて参ります。
本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

令和八年 一月

詩吟朗詠錦城流 宗家 山元錦城
詩吟朗詠錦城会 会長 城戸城濤
(一社)

月には琵琶湖グランドホテルにて師範吟詠大会並びに総会が開催されました。

9月には宗家が渾身の力で作曲された教本第四十編の完成を見、宗範並びに総師範の代表者に対する宗家指導が行われました。50年に亘るご努力の結晶と考え、一つの大きな功績として喜びに堪えません。

11月11日、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠剣詩舞道大会が、5年ぶりに東京武道館で開催され、全国各地から多くの参加者が集い、大変盛大な大会となりました。錦城会は、初代宗家が振興会設立の当初から関わつて参りましたが、当会の発展と共に振興会の変遷

に違和感を覚え脱会しておりました。この度は、吟詠剣詩舞道発展のためとのお誘いに応え、大会への参加を決意しまして、東京近郊の県本部にご協力をお願いし、男女夫々一組の合吟発表で任を果たしました。

11月30日、吟道の碑前祭が沼津市大瀬崎の大瀬神社社務所に於いて斎行され、これには宗家も参加されて、滞りなく終了いたしました。碑前祭はこれまで、碑の建てられている大瀬崎中腹の吟魂台で催されてきましたが、そこまで300段余の急な階段を登らなないと行けませんので参加者の高齢化と共に、登り切れる人が少なくなつておりました。この度、神社のご努力と吟詠界の皆様のご協力により社務所の改装成つて、今回初めて社務所での開催となりました。宗家が提唱していた神社での開催が実現したことに宗家も安堵され、宮司さんとの話も大変弾んだことをご報告いたします。

12月7日、令和7年度全国大会が福岡県大野城市に於いて開催され、全国各地から340名余の会員の参加を得て盛大に開催されました。800人収容の会場が一時は立ち見の人が出るほどの来客数でこれには主催者一同大いに驚くと同時に、地元開催県のご努力に大いなる賞賛を送るものです。

さて、これまで主だった昨年の事業を書きましたが、会創設72年目を迎える本年の全国大会は9月27日、東京での開催となります。流祖50回忌追善の年であり、現宗家襲名50周年の節目の年でもあります。多数の会員のご参加を期待しております。

午年の本年が、会員皆様にとり飛翔の年となりますようご祈念申し上げますと共に、吟詠・詩舞・琵琶の普及活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

27日

山口県本部の講習研修会と昇格審査

11月30日

吟道之碑 第62回合祀祭

12月7日

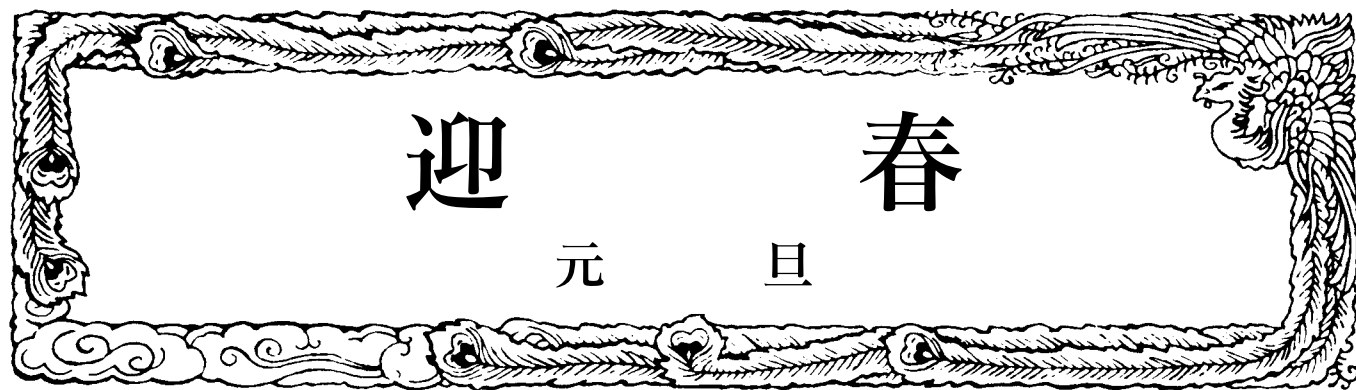
全国大会 福岡県大野城市・まどかぴあ

本部の動き
7・10・16より 7・12・15まで

10月18〜20日 広島県本部の師範指導と昇格審査

26日

日本伝統文化吟友会
吟剣詩舞コンクール全
国決勝大会



顧問
(順不同・敬称略)

衆議院議員 麻生 太郎

元衆議院議員 久間 章生

筑前琵琶橘流日本橘会会長 橘 旭宗

(株)日本文化チャンネル桜社長 水 島 総

会長 城戸 城濤

相談役 山元錦城(東京) 理事

同 本村錦香(鹿児島) 同

最高諮問委員 山元錦隆(東京) 監事

同 村瀬城博(愛知) 同

副会長 本村錦香(鹿児島) 参与

同 金子城大(埼玉) 同

専務理事 土師城皓(神奈川) 同

常務理事 高羽城幹(神奈川) 同

同 佐藤錦杲(神奈川) 同

理事 今井 勝(東京) 同

同 東本錦怜(福岡) 同

同 西川錦洸(広島) 同

同 竹崎錦里(道南) 同

同 吉本城川(鹿児島) 同

同 鍛冶錦代(愛知) 同

同 後藤錦曜(長崎) 同

同 林 錦枝(滋賀) 同

同 佐藤城孝(神奈川) 同

同 藤田錦信(宮城) 同

同 毎熊城明(長崎) 同

同 土田城紘(滋賀) 同

金子錦右(佐賀)

中野錦修(東京)

岩田城龍(東京)

大内城晃(茨城)

本間城楓(道央)

芹澤城征(福島)

海野錦麗香(茨城)

金子錦要(埼玉)

和田錦堯(東京)

深水城實(静岡)

若月城嗣(愛知)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

山本城勘(山口)

益田城真(福岡)

飯田城英(大分)

山下城音(長崎)

吉松城勇(宮崎)

令和7年度 詩吟朗詠錦城流・一般社団法人詩吟朗詠錦城会



会場の「まどかびあ」

全 国 大 会

【開催日】令和7年12月7日（日）

【開催会場】福岡県大野城市「まどかびあ大ホール」

全国大会・所感 ……イン福岡県……

福岡県本部長 東本錦伶

令和7年12月7日、福岡県大野城市まどかびあ大ホールに於いて、舞台上手花道客席から見えない位置に椅子を置き、自宅で陰膳をさせて頂いている流祖の写真に見守って頂き乍らの開幕。結果から言うと、大会本番から懇親会まで盛会裡に終わりました。全国からご参加下さいました皆様方に心から感謝申し上げます。

温故知新と申しますが、ここで福岡県に於いての全国大会を振り返ってみます。

一、昭和40年、北九州市門司文化センター開催（錦城会地方進出全国大会は、昭和38年長崎県に次いで開催している）
二、昭和48年、小倉市民会館に於いて超満員にて開催

三、昭和60年、新装の小倉厚生年金会館大ホール、千余名の会員参加、大盛況のうちに開催

・同年「錦友の歌」が錦城会讃歌として、現事務局長・金子城大先生の企画により誕生
・平成2年3月、詩吟朗詠錦城会が社団法人として認可される

四、平成11年、福岡サンパレスホール2340席超満席、全国会員11番迄の番数で千人の合吟、となっている

五、平成23年、アクロス福岡シンフォニーホール900席ほぼ満席

六、令和7年12月7日、大野城市まどかびあ大ホール800席、番組37番中、中間時点は、ほぼ満席状態

この事をこれからの全国大会を念頭に置いて取り組むことも大事な事ではないかと思えます。

計、福岡県内での全国大会6回開催されている中でも平成11年の福岡サンパレスホール2340席超満員の全国大会は凄かった。そのような時代に戻る訳ではないが、懐かしがっている駄目。

この度の大野城での大会、多くの方がアンケートに添えて下さっています。詩吟に関心を「大いに持った」、「持った」とたくさんの方々が「感動した」、「企画が良かった」、「涙した」等々の回答・声も直接耳に色々な形で入って来る。

その様な好評が前向きな気持ちにさせられた全国大会であつたと開催地として、引き受けた立場としてはとても良い反応に、ご来場の方々への感謝と共に、全国大会開催に当たり並々ならぬ努力と協力をして下さった関係の方々へ大きな拍手と感謝の気持ちを送らせて頂きます。本当にありがとうございます。

全国大会に

参加して

令和7年12月7日、全国大会が「大野城市まどかびあ（福岡県大野城市）」にて、盛大に開催されました。全国から多くの先生方や会員の皆さまをお迎えし、37もの演目が披露され、錦城流の魅力存分に堪能できる一日となりました。

福岡県本部長・東本錦伶先生の地元での開催ということもあり、会員以外の一般のお客様にも多数ご来場いただき、大ホール約800席が、ほぼ満席となる大盛況となりました。終了後のお見送りの際には、詩吟や琵琶のライブ演奏を初めて体験されたお客様から「本当に素晴らしい。感動した。」との温かいお言葉を頂戴しました。

私は、今回初めて全国大会の運営に関わりましたが、先生方の美しいご発声や特別番組に心から感動し、錦城流にご縁を頂いていることへの感謝の思いが一層深まりました。

また、来賓としてご出席された大野城市前市長・井本宗司氏のご挨拶の中で、この日のために東本先生がどれほど早い段階から、時間を惜しまず周到に準備を重ねてこられたかを語られました。そのお話を伺い、東本先生をはじめ、大会役員の皆様、そして大会を支えてくださった全国のすべての皆さまへの感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

来年の東京での開催を楽しみにしております。

（大野城道場 平田不二香）
会場入口の様子



大野城まどかぴあ全国大会に参加して

この大会は約2年前から会場を予約して東本錦怜本部長を中心にスタッフが一丸となり取り組んでこられたことを実感しました。

まず印象深かったことは11時30分の開場と同時に一般の来場者が座席を探す様子を目の当たりにしたことです。地元ではチラシを作成して福岡県の会員が会場を一杯にしたいの思いから一人一人が日々頑張ってきたことが報われた瞬間でした。会場は開幕前からほぼ満席となり素晴らしい全国大会を盛会裏に開催できる予感がいたしました。

そして予測した通り、ご来場された観客は熱心に舞台を鑑賞してくださいました。出吟者もリハーサルで宗家先生から指摘されたことを修正して熱い吟詠で応えました。熱心な観客に真摯に向き合つて、観客に込める詩舞、剣舞、琵琶、朗詠があり、舞台と客席の一体感が徐々に会場内で醸成されていく様を見ることができ素晴らしい大会でした。

座席で鑑賞するのに併せて舞台の袖にも行き、舞台と客席を交互に観察してきましたが、開

幕から閉幕まで順調な進行ができたと思います。琵琶舞物語「平家船絵巻」の舞台が終わると一般客席は少し減少した感がありましたが、最後まで熱心に鑑賞してくれた福岡県の観客に感謝したいと思います。

会場を移して博多駅前ホテルでの懇親会、これも素晴らしい企画で大変盛り上がりしました。宗家先生から「素晴らしい大会であった。宗家として褒めて遣わす」とのお褒めの言葉が飛び出しました。地元の会員にとってこれ以上の言葉はなく、宗家の言葉に感謝しつつ、誇らしい気持ちになったことでしょう。

来年度は東京都大田区蒲田で全国大会が開催されます。一年間ご健康に留意され全国から大勢の吟友が東京都に集うようお願いいたします。

(神奈川県本部 佐藤城孝)

◆新師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
佐藤錦秋	(愛知県)	7・10
森城晴	(愛知県)	7・10
曾我錦淑	(山口県)	7・12



女性の合吟



男性の合吟



開会式



女性合吟



名槍日本号



宝船



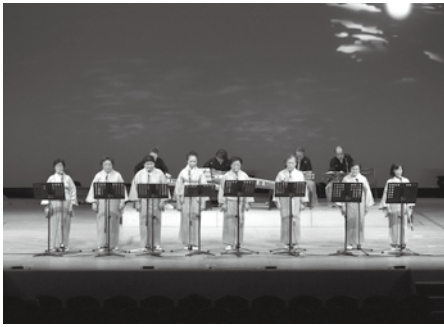
殉国華



雲流る果てに



男性合吟



大物の浦



平家兵船絵巻



琵琶曲「茶絃録」



義経の最期



宗範 本村錦香



詩舞「安宅」

新入会員の紹介
 7/10・12/15

福沢支部 牧 容子
鹿児島支部 久見本久子
 小泉友子 井上良江
大田支部 木村祐太
彦根支部 渡邊 徹 稲本 誠
藤沢支部 永田佳子
 木村久美子 芦村享子
島原支部 月川朱美



渡邊錦龍 宮城県本部長

◇本部長の交替◇



閉会の辞

大野城道場 中村富乃
双盤講保存会 廣瀬範彦
 黒川剛広 黒川美保
沼隈支部 吉岡陽子
名古屋守山支部 加藤和男
福山松浜支部 岡本修成
鹿町道場 富樫井七
草津支部 谷村朱美
大津支部 矢野安則
気仙沼支部 佐藤佳子
横浜西部支部 中川 務
浅井支部 大谷豊子
諫早支部 井村能理子
船橋道場 都築啓子

横浜西部支部 吟行会

錦秋の候、石原城興大師範先生の一周忌祭を終えた、月命日である11月14日に石原錦紫総師範と石原城興大師範の両大先生が永眠している霊園への横浜西部支部吟行会を開催いたしました。

支部員19名の参加者でした。高齢者の多い会員には、吟行は少し厳しいかなとの思いでしたが、現地に着き、そこからのうつすらと雪を冠した富士山の眺望のすばらしさは、吟行の厳しさを一瞬忘れるほどでした。

横浜西部支部の創設以来大変ご苦勞をされてきました錦紫総

師範、城興大師範のお墓参りができ、久しぶりにお逢いし、昔の吟声を心に想いながら線香の香りと煙に清められながら手を合わせ、会員一同心を一つにして男女それぞれで献吟をしました。これからも楽しい仲間たちと一緒に吟詠が長くできるようにとの思いを込めてお祈りしました。



その後の稽古場に集合しての懇親会では、普段会う機会が少ない仲間とのわいわいがやがやの交流の中で、両先生の昔話に誘われ、あちこちから吟詠の声が出てまいりました。なごやかにまた一つ思い出づくりができた吟行会の一日でした。

(横浜西部支部 野々川 錦梢)

第62回 吟道之碑前祭が開催される

晴天に恵まれた11月30日（日）、静岡県沼津市の大瀬神社に於いて第62回の吟道之碑前祭が開催されました。

例年は、300段の階段を上った広場にある吟道之碑の前で催事が行われていましたが、老齢化が進み、階段を上ることが困難な状況になり、今年は、海辺にある大瀬神社の社務所をお借りして催事が執り行われました。

錦城会からは、宗家、城戸会長をはじめ全国から20数名が参加しました。

多くの刺激と気づき

このたび「全国吟剣詩舞道大会」に参加させていただきました。流祖・山元錦城先生が生前大いに活躍された由緒ある大会であり、長らくの願いが叶った、かけがえのない一日となりました。

武道館という大舞台にて、諸流派の皆さまによる氣魄あふれる吟、そして迫力ある剣詩舞を間近で拝見する機会に恵まれ、深い感動を覚えました。それぞれの流派が持つ個性や魅せ方の違いは大変興味深く、思わず感嘆の声を漏らしてしまうほどでした。また、異なる流派が互い

加しました。当日は、暑いぐらゐの天候で、富士山も海を隔ててくつきりと浮かび上がり最高の一日となりました。

錦城会からの合祀者は、次の方々です。

- 佐藤城世（神奈川県）
- 鈴木城花（静岡県）
- 中嶋城湖（滋賀県）
- 岡本錦竜（広島県）
- 中西錦訪（大阪府）
- 保智錦瀬（滋賀県）
- 終 錦俊（滋賀県）
- 古市錦富（滋賀県）

に手を取り合い、同じ舞台に立つ姿からは、流派の垣根を超えた確かな団結力と、作品に向き合う熱意が伝わり、胸の熱くなる思いでした。多くの刺激と学び、そして大きな気づきをいただいた、大変貴重な時間でした。

さらに、SNSを通じてご縁をいただいた吟界の皆さまとも、栄えある場で直接お目にかかり、交流を深めることができましたことも、心より嬉しく存じます。

このような貴重な機会を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

（東京都 金子錦佑）



（合祀者の名簿）

短歌一般の部

有原裕絵様

全国第二位を獲得する

第34回日本伝統文化吟友会吟剣詩舞コンクール全国決勝大会が、行く秋紅葉の中の10月26日に、吟詠の部は倉敷市玉島市民交流センター、剣詩舞の部は倉敷市玉島文化センターにおいて開催されました。

全国各地の予選大会を乗り越え、全国大会の出場権を獲得された出場となり、会場内は緊張した中での大会となりました。

錦城会から、8名の選手が出場しました。

漢詩一般四部

寒河江護（神奈川県）

短歌一般の部

有原裕絵（埼玉）

古賀 豊（神奈川県）

寒河江護（神奈川県）

◇組織体長の変更◇

守山支部（滋賀）

支部長 宇野錦緑

盛岡支部（岩手）

支部長 紺野錦陽

野洲支部（滋賀）

支部長 田中城古

藤沢支部（神奈川県）

支部長 岩崎城信

詩舞一般三部

中村妙子（広島）

神原光江（広島）

井上順子（広島）

坂口由美子（広島）

審査員に、剣詩舞の部を、西川緑恵先生が務めました。

短歌一般の部

準優勝 有原裕絵

第四位 寒河江護

詩舞一般三部

第九位 神原光江

第十位 中村妙子

誠におめでとございました。

日本伝統文化吟友会では、『文部科学大臣賞』『県知事賞』『（公財）日本伝統文化振興財団賞』を決める「出場者部門別」優勝者による吟詠の部優勝者（幼少

年の部を除く）6名、剣詩舞の部、優勝者8名で本決選を行いました。この本決選には、錦城会からの出場者を残念ながら送る事はできませんでした。今後のご活躍を願っております。又、惜しくも入賞を逃されました皆様方も来年を期待いたしております。

開催地、日伝吟中国本部会長大橋宗風先生を始め、役員・委員の先生方に厚く御礼申し上げます。錦城会広島県本部長、西川錦洗先生を始め大会役員として御世話取り下さいました皆様方に感謝申し上げます。来年度は、11月29日に、愛知県津島市文化会館で開催の予定です。

尚、日本伝統文化吟友会では、全国コンクールを8地区（北海道・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国・九州）で開催しておりますので、各地区予選会に技量の向上の一助に出場をお願いいたします。

（二社）詩吟朗詠錦城会担当
日本伝統文化吟友会 金子城大

◆催事のご案内◆

（令和8年4月～9年3月）

◆本会主催 ◆本会後援

◆滋賀県湖南地区大会

・令和8年7月19日（日）

◆錦城会全国大会

・令和8年9月27日（日）